



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東  
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部課長 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,741	2.1	40	△6.4	157	36.6	90	—
2019年3月期第3四半期	5,623	9.2	42	26.4	115	△21.1	△25	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2020年3月期第3四半期	14.60		—					
2019年3月期第3四半期	△4.10		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,855	2,717	56.0
2019年3月期	4,624	2,483	53.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,717百万円 2019年3月期 2,483百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	
2020年3月期	—	0.00	—			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,500	1.8	35	223.5	150	25.2	60	—	9.65	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務情報及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	6,228,039株	2019年3月期	6,228,039株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	13,093株	2019年3月期	12,841株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	6,215,052株	2019年3月期3Q	6,215,414株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により緩やかな回復基調の動きが見られる一方で、消費税引き上げに伴う消費の落ち込みや、相次いで発生した自然災害の影響等による景気下振れリスクも懸念されております。世界経済につきましては、米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、積極的な営業展開、経費削減に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における当社の業績につきましては、料金の適正化に伴い営業収入は堅調に推移したものの、外注費の増加などのコスト上昇により、営業利益は前年同四半期累計期間比では減少しております。

しかしながら、貸倒引当金の戻入益が発生したことや、投資有価証券評価損の減少もあり、四半期純利益は大きく増加しております。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は5,741,016千円で、前年同四半期累計期間と比べ117,097千円(2.1%)の増収となりました。営業利益は40,067千円で、前年同四半期累計期間と比べ2,723千円(6.4%)の減益、経常利益は157,484千円で、前年同四半期累計期間と比べ42,196千円(36.6%)の増益となりました。また、四半期純利益は90,735千円となり、前年同四半期累計期間と比べ116,204千円(前年同四半期累計期間は△25,469千円)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

## ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、好調な受注に支えられ、堅調に推移しておりますが、セグメント利益(営業利益)は諸コストの増加により減少しました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、5,548,362千円で、前年同四半期累計期間と比べ、116,744千円(2.1%)の増収となり、全セグメントの96.6%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は315,872千円で、前年同四半期累計期間と比べ16,331千円(4.9%)の減益となりました。

## ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、料金見直しによりセグメント利益は回復傾向にあります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、189,913千円で、前年同四半期累計期間と比べ、1,872千円(1.0%)の増収となり、全セグメントの3.3%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、5,827千円で、前年同四半期累計期間と比べ、34,464千円(前年同四半期累計期間は△28,636千円)の増益となりました。

## ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と同様に、厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入は2,740千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,519千円(35.7%)の減収となり、全セグメントの0.0%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は2,677千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,515千円(36.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より181,339千円増加して2,615,744千円となりました。これは現金及び預金の増加151,802千円、営業未収入金の増加40,991千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より49,996千円増加して2,238,845千円となりました。これは投資有価証券の増加137,052千円、車両運搬具の減少21,355千円、のれんの減少20,948千円等によるものであります。

繰延資産は、前事業年度末より771千円減少して457千円となりました。これは社債発行費の減少によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より10,204千円減少して1,400,914千円となりました。これは1年内償還予定の社債の減少20,700千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より6,474千円増加して736,410千円となりました。これは長期借入金の増加14,922千円等によるものであります。

純資産は、前年事業年度末より234,294千円増加して2,717,722千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加162,283千円、四半期純利益による利益剰余金の増加90,735千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、2019年11月13日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,062,415	1,214,217
受取手形	2,659	4,451
営業未収入金	792,222	833,213
立替金	532,392	517,083
その他	47,744	49,256
貸倒引当金	△3,028	△2,478
流動資産合計	2,434,404	2,615,744
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	132,826	122,570
構築物(純額)	2,966	2,750
機械及び装置(純額)	1,777	1,600
車両運搬具(純額)	104,306	82,950
工具、器具及び備品(純額)	9,395	6,823
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	31,703	25,728
有形固定資産合計	859,159	818,606
無形固定資産		
のれん	223,448	202,499
その他	64,951	54,274
無形固定資産合計	288,399	256,774
投資その他の資産		
投資有価証券	781,033	918,085
繰延税金資産	47,660	33,699
差入保証金	94,001	93,028
その他	372,707	351,000
貸倒引当金	△254,113	△232,350
投資その他の資産合計	1,041,289	1,163,464
固定資産合計	2,188,849	2,238,845
繰延資産		
社債発行費	1,228	457
繰延資産合計	1,228	457
資産合計	4,624,482	4,855,047

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	40,226	39,686
営業未払金	608,319	633,498
1年内償還予定の社債	47,050	26,350
1年内返済予定の長期借入金	512,045	514,208
未払金	72,754	33,741
未払法人税等	12,056	29,638
賞与引当金	44,426	12,663
その他	74,241	111,128
流動負債合計	1,411,118	1,400,914
固定負債		
社債	26,350	—
長期借入金	467,540	482,462
退職給付引当金	198,771	223,442
その他	37,274	30,506
固定負債合計	729,935	736,410
負債合計	2,141,054	2,137,324
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	12,432	14,296
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	255,837	326,063
利益剰余金合計	268,269	340,359
自己株式	△11,779	△11,857
株主資本合計	2,703,363	2,775,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△219,935	△57,651
評価・換算差額等合計	△219,935	△57,651
純資産合計	2,483,427	2,717,722
負債純資産合計	4,624,482	4,855,047

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収入	5,623,918	5,741,016
営業原価	5,295,188	5,395,694
営業総利益	328,730	345,322
販売費及び一般管理費	285,939	305,255
営業利益	42,790	40,067
営業外収益		
受取利息	48	16
受取配当金	23,615	25,639
受取家賃	53,178	54,332
受取手数料	6,091	5,509
貸倒引当金戻入額	—	18,000
雑収入	32,923	35,835
営業外収益合計	115,856	139,332
営業外費用		
支払利息	10,747	7,981
支払手数料	3,456	3,492
社債発行費償却	1,725	771
賃貸費用	9,003	8,695
保険解約損	14,500	—
雑損失	3,925	973
営業外費用合計	43,359	21,914
経常利益	115,287	157,484
特別利益		
固定資産売却益	6,413	5,598
投資有価証券売却益	5,164	21,202
特別利益合計	11,578	26,800
特別損失		
固定資産除却損	26	0
投資有価証券売却損	14,914	37,649
投資有価証券評価損	93,433	6,975
その他	2,494	—
特別損失合計	110,869	44,624
税引前四半期純利益	15,996	139,660
法人税、住民税及び事業税	41,466	48,925
法人税等合計	41,466	48,925
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,469	90,735



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。